

名古屋学院大学同窓会会報

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION NEWS

第2号('91.10)

名古屋学院大学同窓会事務局発行
愛知県瀬戸市上品野町1350
TEL0561-42-0350(内線201)

『大学同窓会会報』の第二号によせて

会長 池山 忠



会長就任のごあいさつ

(はじめに)

晩秋のころ、同窓生の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。平素は、同窓会の運営と母校の発展のために格別のご配慮をたまわり、厚くお礼申し上げます。

(新会長として)

さて、本年、大学同窓会会長として、ご尽力いただいた岸邦治郎氏は、ご都合により、本年五月大学同窓会役員会を最後に勇退されました。同氏のご努力に対し、同窓生一同深く感謝するとともに、その功績を永く讃えるものがあります。

これにともないまして、新会長人選の必要が生じたため、大学同窓会役員会のみなさまから、わたくしに対してご要請をいただきました。もとより、この重責を果しえる十分な自信には欠けますが、大学冬の時代あるいは大学の質的転換期に当たり、母校発展の礎を築くため微力を尽くさせていただきます。

こととなりました。

みなさまのご支援ご指導をお願いいたします。

(大学の近況)

わが名古屋学院大学は、開学二十七年を迎え、実社会で活躍する卒業生も一万八千名を輩出するに至りました。

母校は、来年度は商学部を増設する計画であり、三学部四学科一別科となり、総合大学への道を着実にすすんでおります。また、大学院設置についても、着実にその準備がすすめられております。学内設備についても、第二学生食堂が建設され、通学バスの路線増など、教学内容の充実に向かって努力が重ねられております。

また、外国語学部も軌道にのり、海外に短期・長期留学する学生も増え、中部における国際交流の中心大学としての基盤を確立しつつあります。

ここに至るまでの、学長、理事長をはじめ教職員のみなさまのご苦勞に、心より感謝申し上げる次第です。

(お礼とお願い)

大学同窓会は、一昨年より新たな道歩みをはじめました。みなさま方のご協力により、目的達成のため一步一步着実に進んでおります。昨年のホーム

カミングデーにおきましては大雨にも係わらず、二百五十名の同窓が母校に集うことができ、有意義な一日を過ごすことができました。また、同窓会活動になくてはならない運営資金として、年会費のお願いをいたしましたところ、多数のご協力をいただきました。役員一同、大きな励みとなり、一万八千名の卒業生のみなさまのために、さらに努力を重ねる覚悟でございます。今後の同窓会活動を活発にするためにも、年会費につきましてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(今年度の活動方針)

今年度の活動方針としては、ホームカミングデーの開催、名簿の整備、卒業生の集い、支部の結成、会報の発行などを予定しており、精力的に進めております。

まず、十一月三日には、好企画が盛りたくさんの第二回ホームカミングデーが新装なりました思星館(第二食堂)にて開催されます。ご家族おそろいで、またお友達をお誘いのうえ、ご参加ください。恩師の先生方や、旧友の方々の旧交をあたため、楽しいひと時を過ごしましょう。当日お会いすることを楽しみにしております。